令和２年度（2020 年度）用　**小学校外国語科用**

「NEW HORIZON Elementary」
新たな年間指導計画
参考資料
【5 年】

※重要　～取扱いに当たっての留意事項～

〇表中の「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」とは，「学校の授業以外の場で学習したことを基に，授業で各活動が展開されること」を前提として記載しています。**学校以外の場のみで学習が完結するということではありません**ので，授業における配慮をお願いします。

〇ＱＲコードを活用し，音声や動画を視聴できる環境にない家庭の児童への配慮をお願いします。

令和２年（2020 年）６月 24 日版

この資料は，児童の学びの保障を目的に，教科書の内容から「学校の授業で扱う必要がある教材・学習活動」と「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」とに区別して，学習活動の重点化の観点から単元ごとの配当時数，主な学習活動などをご提案するものです。

新型コロナウィルス感染症の影響により，各種の取組を行い学校における指導を充実したとしても，なお，年度当初予定していた内容の指導を本年度中に終えることが困難である場合，内容の一部を次学年に移して指導することも考えられます。その際は，教員間の引継ぎを徹底するなど，遺漏のないようご配慮をいただけましたら幸いです。

東京書籍

「NEW HORIZON Elementary」（第５学年）年間指導計画作成資料

月	単元名	単元の目標	時数	学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
4 5	Unit 1 Hello, friends. pp.10-17 ◎学習指導要領の内容：（1）ア・イ・ウ・エ，（2）ア，（3）① ア（ア）（イ）・イ（ア）（イ）・ウ・エ（ア）（イ）・オ（ア），② ア・イ，3（1）ウ（2）（3） ★中心領域：聞く，話す［やり取り］ ★他教科との関連：社会，国語，総合，道徳	名前や好きなもの・ことを伝えることができる。 （自分のことを伝え，相手のことをよく知るために，名前や好きなもの・ことなどについて，短い話を聞いてその概要が分かったり，伝え合ったりできる。外国語の背景にある文化に対する理解を深める。アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。）	8	① 登場人物の学校での会話や名前，好ききらいなどの自己紹介や，海外の友達の自己紹介を聞く。 ② 友達と好きなもの・ことをたずね合ったり，巻末絵カードを使って，英語の語順を考えたりする。 ③ 歌やチャンツ，ピクチャーディクショナリーなどを使いながら，スポーツ，学校，色，食べ物に関する語句や表現に慣れ親しむ。 ④ 名前やつづり，好きなもの・ことを友達とたずね合った上で，「名刺カード」を作り，交換する。p. 34 に貼る。 ⑤ 世界の名前や，英語と日本語の違いについて考える。 ⑥ 北海道地方に住むロス・フィンドレーさんの映像を視聴する。 ⑦ 活字体の大文字を読んだり，書いたりする。	◆【①の一部】予習として，p.10やp.14のQRの音声や動画を繰り返し視聴して，Our Goalのねらいを把握する。 ◆【②の一部】予習として，p.12とp.13のQRの音声を聞きながら，名前のつづりや好きなもの・ことをたずね合う表現を声に出して言う。 ◆【③の一部】p.11のQRから歌やチャンツを聞いたり，ピクチャーディクショナリーのスポーツ，学校，色，食べ物に関する語句や表現を視聴したりして，英語の音や文字に慣れ親しむ。 ◆【⑤の一部】予習として，pp.16-17を読んで，クイズのコーナーや「ことば探検」の誌面余白やノート等に，調べたことや考えたことを記入する。 ◆【⑥の一部】予習として，p. 17のQRからロス・フィンドレーさんについての映像を視聴し，仕事や分かったことを記入する。 ◆【⑦の一部】予習として，p.86のQRの音声を聞きながら，アルファベットの大文字A～Zをpp.86-87に記入する。 ※上記「予習として」授業以外の場でも行えると示した活動は，いずれも④の単元のゴールの活動を支える内容であるため，授業での④の見取りに応じて，適宜授業で補う。 ※第6学年Unit 1の自己紹介を話題にした言語活動を扱う際に， p.10の初授業のQRの音声や動画を繰り返し

					視聴して，使用場面や語彙・表現を振り返りながら学習をつなげる。 （2.5時間）
6	Unit 2 When is your birthday? pp.18-25 ◎学習指導要領の内容：（1）ア・イ・ウ・エ，（2）ア，（３）①ア（ア）（イ）・イ（ア）（イ）・ウ・エ（ア）（イ）・オ（ア），②ア・イ，3（1）ウ（2）（3） ★中心領域：聞く，話す[やり取り] ★他教科との関連：社会，国語，総合，道徳	誕生日やほしいものを伝えることができる。 （自分のことを伝え，相手のことをよく知るために，自分や相手の誕生日やほしいものなどについて，短い話を聞いてその概要が分かったり，伝え合ったりできる。外国語の背景にある文化に対する理解を深める。アルファベットの活字体の小文字を書くことができる。）	8	① 誕生日やほしいものについての登場人物の会話や，世界の行事や祝日についての話を聞く。 ② 誕生日やクリスマス，お正月の行事の日付や，それらの日にほしいものについてたずね合う。 ③ 歌やチャンツ，ピクチャーディクショナリーなどを使いながら，月，日付，衣類，状態に関する語句や表現に慣れ親しむ。 ④ 誕生日の日付やほしいものをたずね合った上で，「バースデーカード」を作り，友達と交換する。 p. 34 に貼る。 ⑤ 世界の一年（行事や祝日）や，英語と日本語の違いについて考える。 ⑥ 中部地方に住む村雨辰剛さんの映像を視聴する。 ⑦ 活字体の小文字を読んだり，書いたりする。	◆【①の一部】予習として，p.18やp.22のQRの音声や動画を繰り返し視聴して，Our Goalのねらいを把握する。 ◆【②の一部】予習として，p.20とp.21のQRの音声を聞きながら，誕生日やほしいものについてたずね合う表現を声に出して言う。 ◆【③の一部】p.19のQRから歌やチャンツを聞いたり，ピクチャーディクショナリーの月，日付，衣類，状態に関する語句や表現を視聴したりして，英語の音や文字に親しむ。 ◆【⑤の一部】予習として，pp.24-25を読んで，クイズのコーナーや「ことば探検」の誌面余白やノート等に，調べたことや考えたことを記入する。 ◆【⑥の一部】予習として，p. 25のQRから村雨辰剛さんについての映像を視聴し，仕事や分かったことを記入する。 ◆【⑦の一部】予習として，p.88のQRの音声を聞きながら，アルファベットの小文字a～zを pp.88-89に記入する。 ※上記「予習として」授業以外の場でも行えると示した活動は，いずれも④の単元のゴールの活動を支える内容であるため，授業での④の見取りに応じて，適宜授業で補う。 ※第6学年Unit 1の自己紹介を話題にした言語活動を扱う際に， p.18の誕生日のQRの音声や動画を繰り返し視聴して，使用場面や語彙・表現を振り返りながら

					学習をつなげる。 （2.5 時間）
7	Unit 3 What do you want to study? pp.26-33 ◎学習指導要領の内容：（1）ア・イ・ウ・エ，（2）ア，（３）①ア（ア）（イ）・イ（ア）（イ）・ウ・エ（ア）（イ）・オ（ア），②ア・イ，3（1）ウ（2）（3） ★中心領域：聞く，話す［やり取り・発表］ ★他教科との関連：社会，国語，総合，道徳	学びたい教科やなりたい職業を伝えることができる。 （自分のことを伝え，相手のことをよく知るために，学びたい教科やなりたい職業などについて，短い話を聞いてその概要が分かったり，伝え合ったり，話したりすることができる。外国語の背景にある文化に対する理解を深める。アルファベットの活字体の大文字・小文字を書くことができる。）	8	① 登場人物や世界の友達の学びたい教科や時間割，なりたい職業についての話を聞く。 ② 学びたい教科やなりたい職業について友達とたずね合う。 ③ 歌やチャンツ，ピクチャーディクショナリーなどを使いながら，天気，曜日，気分，教科，職業，に関する語句や表現に慣れ親しむ。 ④ 学びたい教科やなりたい職業についてたずね合った上で，「夢に近づく時間割」を作り，紹介する。 p. 35 に貼る。 ⑤ 世界の授業や，英語と日本語の違いについて考える。 ⑥ 中国地方に住むソイル・アリさんの映像を視聴する。 ⑦ 活字体の大文字・小文字を読んだり，書いたりする。	◆【①の一部】予習として，p.26やp.30のQRの音声や動画を繰り返し視聴して，Our Goalのねらいを把握する。 ◆【②の一部】予習として，p.28とp.29のQRの音声を聞きながら，学びたい教科やなりたい職業についてたずね合う表現を声に出して言う。 ◆【③の一部】p.27のQRから歌やチャンツを聞いたり，ピクチャーディクショナリーの天気，曜日，気分，教科，職業に関する語句や表現を視聴したりして，英語の音や文字に慣れ親しむ。 ◆【⑤の一部】予習として，pp.32-33を読んで，クイズのコーナーや「ことば探検」の誌面余白やノート等に，調べたことや考えたことを記入する。 ◆【⑥の一部】予習として，p.33のQRからソイル・アリさんについての映像を視聴し，仕事や分かったことを記入する。 ◆【⑦の一部】予習として，p.90 の QR の音声を聞きながら，p.90 の形のにている文字および p.91 のグループ分けを記入する。 ※上記「予習として」授業以外の場でも行えると示した活動は，いずれも④の単元のゴールの活動を支える内容であるため，授業での④の見取りに応じて，適宜授業で補う。 ※第6学年Unit 8の将来の夢を話題にした言語活動を扱う際に， p.26の学校行事のQRの音声や動画を繰り返し視聴して，使用場面や語彙・表現を振り返りながら

					学習をつなげる。 （2.5時間）
	Check Your Steps 1 外国の人に自己紹介をしよう pp.34-35 ◎学習指導要領の内容：（1）ア・イ・ウ・エ，（2）ア，（３）①ア（ア）（イ）・イ（ア）（イ）・ウ・エ（ア）（イ）・オ（ア），②ア・イ，3（1）ウ（2）（3） ★中心領域：話す［発表］	初めて会う外国の人に自己紹介をすることができる。 （外国の人に自己紹介するために，好きなもの・こと，ほしいもの，誕生日などについて話すことができる。）	2	① 児童が初めて会う外国の人に対して自己紹介をすることを想定し，好きなもの・こと，ほしいもの，誕生日などから伝えたいことを選んでパネルを作り，スピーチを行う。	※Check Your Steps 1 は総括的評価のための単元と位置付けているため，本時の全活動を「授業で扱う必要があるもの」と考える。評価の結果，フィードバックを要する部分については，Unit 1～3の該当箇所に立ち返り，適宜補って学習する。 ※第6学年Check Your Steps 1で外国の人にメッセージを伝える言語活動を扱う際に，　ピクチャーディクショナリーを活用しながら外国の人に自己紹介をする学習にもつなげる。
9 10	Unit 4 He can bake bread well. pp.38-45 ◎学習指導要領の内容：（1）ア・イ・ウ・エ，（2）ア，（3）①ア・イ（ア）（イ）（ウ）・ウ・エ・オ（ア），②ア・イ，3（1）（2）（3） ★中心領域：聞く，話す［やり取り・発表］ ★他教科との関連：社会，国語，総合，道徳	地域の身近な人を紹介することができる。 （地域に住む身近な人を紹介するために，その人のできることなどについて，短い話を聞いてその概要が分かったり，伝え合ったり，話したりすることができる。外国語の背景にある文化に対する理解を深める。アルファベットの活字体の大文字・小文字を書くことができる。）	8	① 登場人物が住む地域の場所や身近な人についての話や，できること・できないことについての話を聞く。 ② 先生や友達にインタビューをしたり，そのことをもとに名前を書いたり，できることの巻末絵カードを置いたりする。 ③ 歌やチャンツ，ピクチャーディクショナリーなどを使いながら，動作など，建物など，楽器，家族，人に関する語句や表現に慣れ親しむ。 ④ 「身近な人紹介カード」を作ってその人の職業やできることなどをたずね合ったりした上で，ショー・アンド・テルをする。 p. 63 に貼る。 ⑤ 世界の町で働く人々や，英語と日本語の違いについて考える。 ⑥ 九州地方に住むドリアーノ・スリスさんの映像を視聴する。 ⑦ 複数の大文字の名前を聞いて書く。アクセント	◆【①の一部】予習として，p.38やp.42のQRの音声や動画を繰り返し視聴して，Our Goalのねらいを把握する。 ◆【②の一部】予習として，p.40とp.41のQRの音声を聞きながら，身近な人のできること・できないことを紹介し合う表現を声に出して言う。 ◆【③の一部】p.39のQRから歌やチャンツを聞いたり，ピクチャーディクショナリーの動作など，建物など，楽器，家族，人に関する語句や表現を視聴したりして，英語の音や文字に慣れ親しむ。 ◆【⑤の一部】予習として，pp.44-45を読んで，クイズのコーナーや「ことば探検」の誌面余白やノート等に，調べたことや考えたことを記入する。 ◆【⑥の一部】予習として，p.45のQRからドリアーノ・スリスさんについての映像を視聴し，仕事や分かったことを記入する。

10				に慣れ親しむ。	◆【⑦の一部】予習として，p.94のQRの音声を聞きながら，アクセント①～④を記入する。 ※上記「予習として」授業以外の場でも行えると示した活動は，いずれも④の単元のゴールの活動を支える内容であるため，授業での④の見取りに応じて，適宜授業で補う。 ※第6学年Unit 3の旅先でできること（可能）を話題にした言語活動を扱う際に，p.38の身近な人ができること（能力）のQRの音声や動画を繰り返し視聴して，使用場面や語彙・表現を振り返る。canのもつ英語の意味の違い（能力と可能）にも気付けると第6学年にふさわしく学びが深まる。 （2.5時間）
	Unit 5 Where is the post office? pp.46-53 ◎学習指導要領の内容：（1）ア・イ・ウ・エ，（2）ア，（3）①ア・イ（ア）（イ）（ウ）・ウ・エ・オ（ア），②ア・イ，3（1）（2）（3） ★中心領域：聞く，話す[やり取り] ★他教科との関連：社会，国語，総合，道徳	場所をたずねたり，答えたりすることができる。 （自分の知りたい場所や位置をたずねたり，相手を案内したりするために，場所や位置のたずね方や答え方などについて，短い話を聞いてその概要が分かったり，伝え合ったりすることができる。外国語の背景にある文化に対する理解を深める。アルファベッの活字体の大文字・小文字を書くことができる。）	8	① 登場人物の道案内や，さがしものがどこにあるのか，外国の記号についての話を聞く。 ② さがしものがどこにあるのかたずね合ったり，登場人物になりきって道案内をしたりする。 ③ 歌やチャンツ，ピクチャーディクショナリーなどを使いながら，道案内，位置，日常生活，建物などに関する語句や表現に慣れ親しむ。 ④ お気に入りの場所や，あったらよい場所などを地図に記入して伝え合ったりした上で，「町にあったらよい場所カード」を作り，道案内をする。 p. 63 に貼る。 ⑤ 世界の地図や標識，英語と日本語の違いについて考える。 ⑥ 関東地方に住むデービッド・ブルさんの映像を視聴する。	◆【①の一部】予習として，p.46やp.50のQRの音声や動画を繰り返し視聴して，Our Goalのねらいを把握する。 ◆【②の一部】予習として，p.48とp.49のQRの音声を聞きながら，どこにあるかをたずね合う表現を声に出して言う。 ◆【③の一部】p.47のQRから歌やチャンツを聞いたり，ピクチャーディクショナリーの道案内，位置，日常生活，建物などに関する語句や表現を視聴したりして，英語の音や文字に慣れ親しむ。 ◆【⑤の一部】予習として，pp.52-53を読んで，クイズのコーナーや「ことば探検」の誌面余白やノート等に，調べたことや考えたことを記入する。 ◆【⑥の一部】予習として，p.53のQRからデービッド・ブルさんについての映
11					

				⑦　複数の小文字の名前を聞いて書く。アクセントや単語の始まりの音に慣れ親しむ。	像を視聴し，仕事や分かったことを記入する。 ◆【⑦の一部】予習として，p.94 と p.95 の QR の音声を聞きながら，アクセント⑤～始まりの音②を記入する。 ※上記「予習として」授業以外の場でも行えると示した活動は，いずれも④の単元のゴールの活動を支える内容であるため，授業での④の見取りに応じて，適宜授業で補う。 （2.5時間）
12	Unit 6 What would you like? pp.54-61 ◎学習指導要領の内容：（1）ア・イ・ウ・エ，（2）ア，（3）①ア・イ（ア）（イ）（ウ）・ウ・エ・オ（ア），②ア・イ，3（1）（2）（3） ★中心領域：聞く，話す[やり取り] ★他教科との関連：算数，家庭，社会，国語，総合	ていねいに注文をしたり，値段をたずねたりすることができる。 （自分のことを伝え，相手のことをよく知るために，ていねいな表現を使って注文したり会計したりすることなどについて，短い話を聞いてその概要が分かったり，伝え合ったりすることができる。外国語の背景にある文化に対する理解を深める。アルファベットの活字体の大文字・小文字を書くことができる。）	8	①　登場人物がていねいに注文したり，値段をたずねたりする場面や，世界の料理についての話を聞く。 ②　ピクチャーディクショナリーを使って注文したり，値段をたずね合ったり，メニューを考えたりする。 ③　歌やチャンツ，ピクチャーディクショナリーなどを使いながら，デザート，味など，食べ物，飲み物，数，に関する語句や表現に慣れ親しむ。 ④　日本各地の名物を決めて，ピクチャーディクショナリーを使って注文をしたり，会計し合った上で，「ふるさとメニュートレイ」と巻末絵カードを使ったりして，買い物をし合う。 p. 62 に貼る。 ⑤　世界の食文化や，英語と日本語との違いについて考える。 ⑥　東北地方に住むカリン・ラフィットさんの映像を視聴する。 ⑦　複数の小文字の名前を聞いて書く。単語の始まりの音や終わりの音に慣れ親しむ。	◆【①の一部】予習として，p.54やp.58のQRの音声や動画を繰り返し視聴して，Our Goalのねらいを把握する。 ◆【②の一部】予習として，p.56とp.57のQRの音声を聞きながら，ていねいな表現で注文したり会計したりする表現を声に出して言う。 ◆【③の一部】p.55のQRから歌やチャンツを聞いたり，ピクチャーディクショナリーのデザート，味など，食べ物，飲み物，数に関する語句や表現を視聴したりして，英語の音や文字に慣れ親しむ。 ◆【⑤の一部】予習として，pp.60-61を読んで，クイズのコーナーや「ことば探検」の誌面余白やノート等に，調べたことや考えたことを記入する。 ◆【⑥の一部】予習として，p. 61のQRからカリン・ラフィットさんについての映像を視聴し，仕事や分かったことを記入する。 ◆【⑦の一部】予習として，p.95 の QR の音声を聞きながら，単語の始まりの音③～終わりの音③を記入する。 ※上記「予習として」授業以外の場でも行えると示し

					た活動は，いずれも④の単元のゴールの活動を支える内容であるため，授業での④の見取りに応じて，適宜授業で補う。 ※第6学年Unit 3の世界遺産を話題にした言語活動を扱う際に， p.55のLet's Watch and Thinkの世界に渡った日本の料理の音声や動画を視聴して，日本や地域の名所や名物の紹介，買い物にも関連させながら学習をつなげる。 （2.5 時間）
	Check Your Steps 2 地域のおすすめを紹介しよう pp.62-63 ◎学習指導要領の内容：（1）ア・イ・ウ・エ，（2）ア，（3）①ア・イ（ア）（イ）（ウ）・ウ・エ・オ（ア），②ア・イ，3（1）（2）（3） ★中心領域：話す［発表］	あなたの地域のおすすめを外国の人に紹介することができる。 （地域のおすすめを外国の人に紹介するために，建物，人，特産物などについて話すことができる。）	2	① 児童の地域のおすすめを外国の人に紹介することを想定し，建物や人，特産物などから伝えたいことを選び，パンフレットを作り，スピーチを行う。	※Check Your Steps 2は総括的評価のための単元と位置付けているため，本時の全活動を「授業で扱う必要があるもの」と考える。評価の結果，フィードバックを要する部分については，Unit 1～6の該当箇所に立ち返り，適宜補って学習する。 ※第6学年Check Your Steps 2で世界と自分とのつながりを発見して紹介する言語活動を扱う際に， ピクチャーディクショナリーを活用しながら自分の住む身近な地域のおすすめを紹介する学習にもつなげる。

1 2	Unit 7 Welcome to Japan. pp.66-73 ◎学習指導要領の内容：（1）ア・イ・ウ・エ，（2）ア，（3）①ア・イ・ウ・エ・オ（ア）（イ），②ア・イ，3（1）（2）（3） ★中心領域：聞く，話す［やり取り・発表］ ★他教科との関連：社会，国語，総合，道徳	日本の四季や文化について紹介することができる。 （自分のことを伝え，相手のことをよく知るために，日本の四季や文化などについて，短い話を聞いてその概要が分かったり，伝え合ったり，話したりすることができる。外国語の背景にある文化に対する理解を深める。アルファベットの活字体の大文字・小文字を書くことができる。）	8	① 登場人物の日本の四季や文化についての話や，世界で食べられている日本の食べ物についての話を聞く。 ② 日本の遊びや年中行事について，クイズを出し合ったり，その行事にすることや食べるものについてたずね合ったりする。 ③ 歌やチャンツ，ピクチャーディクショナリーなどを使いながら，季節や形，遊びなど，年中行事に関する語句や表現に慣れ親しむ。 ④ 好きな季節やその理由，その季節に行う行事をたずね合った上で「日本の四季ポストカード」を作り紹介する。p. 82 に貼る。 ⑤ 世界に広がる日本文化と，英語と日本語との違いについて考える。 ⑥ 中部地方に住むスザーン・ロスさんの映像を視聴する。 ⑦ Animals Jingle を聞いたり，歌ったりする。	◆【①の一部】予習として，p. 66やp. 70のQRの音声や動画を繰り返し視聴して，Our Goalのねらいを把握する。 ◆【②の一部】予習として，p. 69のQRの音声を聞きながら，日本の遊びや年中行事などについてたずね合う表現を声に出して言う。 ◆【③の一部】p. 67のQRから歌やチャンツを聞いたり，ピクチャーディクショナリーの季節，形，遊びなど，年中行事に関する語句や表現を視聴したりして，英語の音や文字に慣れ親しむ。 ◆【⑤の一部】予習として，pp. 72-73を読んで，クイズのコーナーや「ことば探検」の誌面余白やノート等に，調べたことや考えたことを記入する。 ◆【⑥の一部】予習として，p. 73のQRからスザーン・ロスさんについての映像を視聴し，仕事や分かったことを記入する。 ◆【⑦の一部】予習として，p. 96 の QR の音声を聞きながら，Animals Jingle を歌う。 ※上記「予習として」授業以外の場でも行えると示した活動は，いずれも④の単元のゴールの活動を支える内容であるため，授業での④の見取りに応じて，適宜授業で補う。 ※第6学年Unit 2のふだんすることを話題にした言語活動を扱う際に， p.66の年中行事のQRの音声や動画を繰り返し視聴して，使用場面や語彙・表現を振り返りながら学習をつなげる。 （2.5 時間）

	Unit 8 Who is your hero? pp.74-81 ◎学習指導要領の内容：（1）ア・イ・ウ・エ，（2）ア，（3）①ア・イ・ウ・エ・オ（ア）（イ），②ア・イ，3（1）（2）（3） ★中心領域：話す［やり取り・発表］	あこがれの人について発表することができる。 （あこがれの人を紹介するために，日常生活やその人が得意なことなどについて，短い話を聞いてその概要が分かったり，伝え合ったり，話したりすることができる。外国語の背景にある文化に対する理解を深める。アルファベットの活字体の大文字・小文字を書くことができる。）	8	① 日常生活やあこがれの人，海を越えて活躍する日本のヒーローたちの話を聞く。 ② 登場人物の日課についてのゲームをする。また，絵をヒントに質問し合って友達について知り，紹介する。 ③ 歌やチャンツ，ピクチャーディクショナリーなどを使いながら，一日の生活，性格など，頻度，スポーツ，楽器に関する語句や表現に慣れ親しむ。 ④ 児童にとってのヒーローを考えて「ヒーロー紹介カード」を作り，その理由をペアでたずね合った上でショー・アンド・テルをする。 p. 82に貼る。 ⑤ 日本生まれのヒーローや，英語と日本語との違いについて考える。 ⑥ 近畿地方に住むダイアン吉日さんの映像を視聴する。 ⑦ Food Jingle を聞いたり，歌ったりする。	◆【①の一部】予習として，p. 74やp. 78のQRの音声や動画を繰り返し視聴して，Our Goalのねらいを把握する。 ◆【②の一部】予習として，p. 76とp. 77のQRの音声を聞きながら，日常生活やあこがれの人についてたずね合う表現を声に出して言う。 ◆【③の一部】p. 75のQRから歌やチャンツを聞いたり，ピクチャーディクショナリーの一日の生活，性格など，頻度，スポーツ，楽器に関する語句や表現を視聴したりして，英語の音や文字に慣れ親しむ。 ◆【⑤の一部】予習として，pp. 80-81を読んで，クイズのコーナーや「ことば探検」の誌面余白やノート等に，調べたことや考えたことを記入する。 ◆【⑥の一部】予習として，p. 81のQRからダイアン吉日さんについての映像を視聴し，仕事や分かったことを記入する。 ◆【⑦の一部】予習として，p. 96のQRの音声を聞きながら，Food Jingleを歌う。 ※上記「予習として」授業以外の場でも行えると示した活動は，いずれも④の単元のゴールの活動を支える内容であるため，授業での④の見取りに応じて，適宜授業で補う。 ※第6学年Unit 2の頻度を表す表現を使った言語活動を扱う際に， p.74の日課のQRの音声や動画を繰り返し視聴して，使用場面や語彙・表現を振り返りながら学習をつなげる。 （2.5時間）
3					
	Check Your	「日本のすてき」を	2	① 英語の先生に「日本のす	※Check Your Steps 3 は総

	Steps 3 「日本のすてき」を紹介しよう pp.82-83 ◎学習指導要領の内容：（1）ア・イ・ウ・エ，（2）ア，（3）①ア・イ・ウ・エ・オ（ア）（イ），②ア・イ，3（1）（2）（3） ★中心領域：聞く，話す[発表] ★他教科との関連：社会，国語	英語の先生に紹介することができる。 （「日本のすてき」を紹介するために，人や行事，食べ物などについて話すことができる。）		てき」を紹介することを想定し，人や行事，食べ物などから伝えたいことを選び，紹介ガイドを作り，スピーチをする。 ② クラス全員の日本紹介ガイドのページを集めてガイドブックにする。	括的評価のための単元と位置付けているため，本時の全活動を「授業で扱う必要があるもの」と考える。評価の結果，フィードバックを要する部分については，Unit 1～8の該当箇所に立ち返り，適宜補って学習する。 ※第6学年Check Your Steps 3で寄せ書きのメッセージを伝える言語活動を扱う際に，　ピクチャーディクショナリーを活用しながら「日本のすてき」の紹介文などを添えて，ALTの先生などといっしょに英語で卒業文集を作る活動に膨らませることもできる。

20/70 時間